

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第3回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和7年2月14日(金) 午後3時00分から午後5時00分まで
開 催 場 所	所沢市東部クリーンセンター 大会議室
出 席 者 の 氏 名	審議会委員 渡辺 浩平、秋元 智子、河井 一広、甲斐 文祥、神藤 年三、 長沼 浩、宮高 隆、清水 映美、平間 裕子
欠 席 者 の 氏 名	尾崎 範子、高橋 秀世、澁谷 正則、鳴島 裕子、坂根 裕子、 大住 真由美
議 題	(1) プラスチック類の一括回収について (2) 剪定枝の資源化について (3) その他
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) ご議論いただきたいこと (4) 資料1：プラスチック類の一括回収について (5) 資料2：剪定枝の資源化について (6) 資料3：これまでの意見のまとめ
担 当 部 課 名	環境クリーン部長 安藤 善雄 環境クリーン部次長 菅原 聖二 収集管理事務所長 川原 利和 東部クリーンセンター所長 大舘 正 東部クリーンセンター主幹 吉田 孝之 資源循環推進課 課長 山屋 貴裕 主幹 田島 幸雄 副主幹 内野 忠雄 副主幹 大島 要一 主査 飯塚 健 主任 濱仲 拓巳 主事 八木下 綾  電話 環境クリーン部資源循環推進課 04-2998-9146

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
資源循環推進課 主幹	<p>第3回所沢市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。</p> <p>本日は尾崎委員、高橋委員、渋谷委員、鳴島委員、坂根委員、大住委員6名の方が欠席となっております。出席委員は過半数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>本市では審議会に著しい支障が生じる場合を除き、原則公開としております。</p> <p>これからの進行は審議会条例に基づき、渡辺会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>まず、傍聴者について報告をお願いします。</p>
資源循環推進課 主幹	<p>傍聴者は4名です。</p>
会長	<p>傍聴を認めるということで皆さんよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>（一同うなずく）</p>
会長	<p>では傍聴の方、お入りください。</p> <p>（傍聴者入室）</p>
資源循環推進課 主幹	<p>本日傍聴される皆様方にご案内いたします。</p> <p>入室いただく前に傍聴要項をご覧いただいていると思いますが、会議中お静かに傍聴していただき、会議の秩序を乱すこと、議事を妨害することなどがありましたらご退席いただく場合もございますので、ご承知いただければと思います。</p>
会長	<p>では、事務局の方から配付資料についてお願いします。</p>
資源循環推進課 主幹	<p>（配布資料の確認が行われた）</p>
会長	<p>議事の（1）について、事務局からお願いします。</p>
資源循環推進課 主事	<p>（資料1について説明が行われた）</p>

<p>会長</p>	<p>拠点回収で集まっている回収量はどれくらいですか。 プラスチック類のルートは現状どうなっていて、一括収集を行った場合はどうなるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>単一素材プラスチックの拠点回収について、令和5年度の回収量は、47.6トンです。なお、令和4年度は36.1トン、令和3年度は32.4トンとなっています。 容器包装プラスチックのリサイクルについて、令和5年度は半分が高炉の還元剤、半分が株式会社レゾナックでアンモニアなどにリサイクルされています。</p>
<p>会長</p>	<p>補足すると、所沢はすでに容器包装プラスチックを分別収集しています。 資料2ページ目のところで、③は既に容器包装プラスチックの分別収集をやっているが、さらに製品プラスチックも含めるという例になります。所沢市はこれをやるかどうかという話になるかと思えます。 この件についてコメントやご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>プラスチックを一括回収するということは、容器包装プラスチックの名称を変えるのでしょうか。 現在、製品プラスチックは破碎ごみ類に出していますが、それも一括回収する場合は破碎ごみ類から外してプラスチックに統一するのでしょうか。 プラスチックを一括回収する場合、モデル地域でテストして、色々な検証データを得てから本番に入るというスタイルをとった方がよいと思えます。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>今後、本格的に一括回収を始めるとなった場合には、名称を変えることはあると思えます。 また、製品プラも一緒に集める場合には、大きさや素材などの制約も含めて考えていく必要があると思えます。 一括回収を検討する段階では、全市的またはモデル地区で実施するか検討する必要があると思えますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>容器包装プラスチックをやる前は、一括収集のようなことを行っていたということでしょうか。</p>

<p>資源循環推進課長</p>	<p>もともと容器包装プラスチックの資源化の制度ができたときの名称は「プラスチック」でしたが、実際には容器包装プラスチックを対象としていました。</p> <p>ただ、「プラスチック」という名称だとプラスチック製のもの全てが対象となってしまう分りにくいので、容器包装のプラスチックだけが法的に資源化のルートができている状況を踏まえて「容器包装プラスチック」に名称を変えたものです。</p>
<p>副会長</p>	<p>まだ検討中ということなのですが、その他プラも容器包装プラも一緒に収集したとして、それをリサイクルする業者や行き先は確保されているのでしょうか。</p> <p>また、今までのように拠点回収でも回収してもらわないと市民も困ってしまうと思います。</p> <p>所沢市の破碎ごみ回収が月に2回ですので、回収頻度も見直す方がいいと思います。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>容器包装リサイクル法に基づく指定法人に委託する場合、自治体または指定されている施設でベール化を行う必要があります。また、基本的に容器包装リサイクル協会が資源化の業者と契約をするので、所沢から出たプラスチック類が何になるか分かりづらくなるという課題があります。</p> <p>他方、再商品化計画の認定の場合、ベール化も再商品化も独自に選んで契約をすることができますが、認定ルートは国の認定を取るハードルが結構高いというデメリットがあります。</p> <p>いずれもこれから検討する必要がありますので、一括回収にした時の行き先の目途は立っておりません。</p>
<p>会長</p>	<p>この行き先は、かなり懸念事項であると思っています。</p> <p>容器包装リサイクル法のルートだと、高炉還元を利用された際には、プラスチックは二酸化炭素になって出てくることになります。</p> <p>2050年カーボンニュートラルを実現するというところでいうと、おそらく日本でも高炉還元はできないと思います。</p> <p>カーボンニュートラルの趣旨から言って、ケミカルとか高炉還元とかに回るようであれば、あえてやらなくてもいいという感じがしてしまいます。というのは、現在は拠点回収されているものはマテリアルリサイクルされているという認識です。</p> <p>マテリアルリサイクルであれば、既存のプラスチックを節約できて、プラスチック製品に戻せるという形になりますので、石油から作ることを省くことができ、カーボンニュートラルにも貢献できると思っています。</p>

副会長	<p>例えばバイオプラとか、表面がプラスチックで中身に乾電池が入っているとか、いろんなものが混合収集になると入ることが想定されます。</p> <p>バイオプラは、プラスチックとバイオの部分が別々になってうまくリサイクルできないと思います。</p> <p>そういう場合の対処は考えているのでしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>一口にバイオプラといっても、原料が自然由来で成分は石油由来のものと同じものと、生分解性プラスチックというものがあります。</p> <p>それぞれ適切な処分方法が異なると思いますが、現状の製品では区分けまではなされていない気がします。</p> <p>ですので、バイオプラを適切に資源化や処分をするというのは、現状では技術的に難しいと思います。</p> <p>製品の見た目はプラスチックでも様々な素材が入っているものは、基本的にプラスチックとしての資源化はできないと思いますので、可能な限り選別して資源化を行い、市民への啓発も行っていくしかないと思っております。</p>
会長	<p>容器包装プラスチックが高炉還元のように使われる場合には、少々生分解性のプラスチックが混じっていても大丈夫ですが、マテリアルリサイクルしようと思うと、生分解性のものが混じっていると、耐久性のあるプラスチック製品にはリサイクルできないということになります。</p> <p>一括収集した場合に、いろいろなプラスチックが混じると、難しいところがあると思います。</p>
委員	<p>法律ができて、色々な自治体が始めている中で、所沢市としては、何らかの施策をした方がいいと思っています。</p> <p>一方で、容器包装プラスチックはマテリアル優先でやっていますが、全部が全部循環しているわけではなく、国もケミカルや高炉還元分散していると思います。</p> <p>燃やせるごみの中のプラスチックが減るとエネルギーの問題にもなりますが、他都市の状況では、単一素材プラスチックを一緒に集めても2、3割程度の増加ですので、焼却にも影響はないと思います。</p> <p>一番の問題は一括回収を始めることによって、お金がかかりますので、最初から全部やるのではなく、無理のない範囲から始めてもいいのかなと思います。</p>

委員	<p>資料を見ますと、容器包装プラスチックは軟質が、製品プラスチックは硬質が多いように思います。これらが混合した場合、同一の設備で処理できるのでしょうか。</p> <p>リチウム電池の発火事故が起きた際、現状で回っているものに影響が出てしまうというのは大きなダメージだと思います。</p> <p>性状も違うので、できれば別プラントとか、性状に合った処理を考えるという方がいいと思います。</p>
委員	<p>何かやるときに一気にやらないで、モデル的にやってみることも非常に大事だと思います。</p> <p>また、一般住民が理解できるような言葉をもっと使ってほしいと思います。一括回収とか言われると、どういう回収方法をやるのかなと思う。</p> <p>市は、自治会や環境推進員などの組織に投げかけて、方法を共有すると良いと思います。みんなのためになる方策をぜひ検討していただきたいです。</p>
資源循環推進課長	<p>一括回収した場合の処理については、いろいろな段階で課題があると認識しています。</p> <p>製品プラスチックを一括回収すると、当市のクリーンセンターの設備でのベール化は難しいと考えています。</p> <p>現在、入間市は一括回収をしまして、民間の事業者にて混合のままベール化しており、リチウムイオン電池は、強力な磁石と手作業で除いているとのことで、混合でのベール化まではできると思います。ただ、その先はリサイクラーでまた分別されていると思われます。</p> <p>本当は、ごみとして排出された段階で、それぞれの性状で分けられれば一番効率もいいですし、環境にもいいし、手間もかからないのですが、そこまではなかなか厳しいところです。</p> <p>市民に分かりやすい言葉でというのは、審議会では、一括回収とか容器包装ルート、認定ルートという言い方をさせていただいていますが、一括回収することになった際には、分かりやすい方法というのを考えていかなければいけないと思います。</p>
会長	<p>容器包装プラスチックは柔らかいプラスチック、製品プラスチックは硬いプラスチックというように、シンプルに柔らかいと硬いで判別がつくと思います。</p> <p>そういう意味でいうと、現状の容器包装プラスチックはそのまま、製品プラスチックを単独あるいは他の区分、例えば小型家電と一緒に集めるとか、そういった可能性もあると思います。</p>

委員	<p>私の方からは2つご参考ということで発言します。</p> <p>1点目は、回収後のリサイクラーの選択に関することです。</p> <p>リサイクラーの方とのマッチングにご苦労されているケースは結構ございますので、何かあれば、国にご相談いただければと思います。</p> <p>もう1点が拠点回収の関係です。</p> <p>他の地域での事例ですが、例えばホームセンターとかドラッグストアとか、普段買い物に行くところに回収拠点があるとその足で出して、買い物するみたいな動線を作られているケースもありますので、ご参考にしていただければと思います。</p>
会長	<p>普通に生活している観点から、現状の容器包装プラスチックの出し方とか、あと製品プラスチックについてどういうふうにお考えとか何かありましたら、ぜひお願いしたいです。</p>
委員	<p>普段から分別にはすごく気をつけていますが、容器包装プラスチックと単一プラスチックの違いは非常に一般市民からすると難しいのかと思っていて、水曜日に回収されているプラスチックに単一プラスチックは混入していると思います。</p> <p>課題が全てクリアできるようであれば、一般市民としては一括回収になると、すごく分かりやすいとは思いますが。</p>
会長	<p>容器包装プラスチックの出し方とか単一素材のプラスチックに関してはいかがですか。</p>
委員	<p>分かりづらいような気がします。</p>
会長	<p>製品プラスチックを含めると、リチウム電池入りのものが多く入ってくるので、そこをどう防ぐかが課題です。</p> <p>現状でも容リプラの区分のところに電池入りのものや製品プラスチックは若干混入があると思いますが、いかがですか。</p>
東部クリーンセンター所長	<p>容器包装プラスチックの手選別ラインから、やはり電池を含むような外側がプラスチックでできたものが出てくることは多々あります。</p> <p>破碎ごみにおきましては、電池を含んだものが多々あり、コンベヤで火花を検出するようなことも非常に多くあります。</p>
会長	<p>そうすると、前回ご審議いただいた電池の話とうまく解決して、あまり混じらないという方策が取れたらプラスチックは一括で、みみたいな形もあり得るかなと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>違った製品の物を入れないということで、私の経験を話します。  学校絡みのことをやっていますが、中学校の給食では牛乳のストローを廃止し、手で開けるパックになっていました。  製品をそういう風にするとう製造側の方も製品を作りやすく、違うものを混ぜなければ容器だけになり、資源回収できます。  このように、考え方をえて、物を素材に戻せるような仕組みが、非常に大事かなと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>3Rの原則を考えると、リデュースが一番最初で、「減らして」をした上でのリサイクルということになると思います。  元のものに戻るという形の、より質の良いリサイクルを施行するというのは、やはり重要な観点だと思います。  プラスチックの一括回収は、導入にあたって懸念事項もありますが、ご検討いただければと思います。  では2つ目のトピック。剪定枝について事務局からご説明いただければと思います。</p>
<p>資源循環推進課 主事</p>	<p>(資料2について説明が行われた。)</p>
<p>会長</p>	<p>外路樹の剪定枝などの資源化を来年から行うということですが、それをどこまで拡張すべきか、できるか、といったところまで含めて審議したいと思います。  場合によっては剪定枝という区分を設けて、町田市みたいな形で一般の普通の収集の曜日にさらに加えるといったような形もあり得るでしょうし、剪定枝は持ち込みのものが多いうのもありますので、持ち込まれたものをリサイクルに回すといった取り組みの仕方もあると思います。  それで言うと、ごみ組成分析結果のグラフで出していたのは、これは燃やせるごみの収集の中に入っているのが4,510トン。先ほどのプラスチックに比べるとかなり多いです。  これに加えて持ち込みの剪定枝があると思うのですが、持ち込みの量というのはどれくらいでしょうか。</p>
<p>東部クリーンセンター所長</p>	<p>事業系造園業者などの持ち込みの剪定枝については、今すぐ正確な量は出ないですが、やはり数千トンレベルであったと認識しています。</p>



<p>会長</p>	<p>持ち込まれたものだけでも資源化すれば、剪定枝全体の結構な割合がリサイクルできるということになると思いますが、どうお考えでしょうか。</p> <p>普通の収集で剪定枝という区分を設けてリサイクルすべき、持ち込み、あるいは何もしないというものもあるかもしれませんが、何かお考え、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>地区内で事前に話を聞いたところ、早くやった方がいいという意見がありました。量が多いと大変ですが、剪定枝とか使えるものはどんどん資源化すべきだと思います。</p> <p>回収日も何かと組み合わせていくといいと思います。うまくやれば、どんどん資源化が進むのではないのでしょうか。</p> <p>自治会とかいろいろそういう人たちが理解を示しながら進めていく、市の方針に沿ってやっていくというように、良いことは積極的に進めようと、いつも思っています。多量に何パーセントも減らさなくても、少しでもいいと思います。</p> <p>中学生は、勉強だけじゃなくて、汗を流しながら良いことをやりたいという意見もありました。みんなでやれば、市の行政も良くなるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>自治会の取り組みで、剪定枝が出た場合というのは市の可燃ごみの収集に出されますか。それとも持ち込みでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>大きいものは西部クリーンセンターに持って行きます。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢市内で剪定枝をリサイクルしている事業者は何件ぐらいありますか。</p>
<p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>南永井に1社あります。</p>
<p>委員</p>	<p>工場に入ってきている剪定枝は、事業系のほうがまとまっていると思いますので、資源化を促してみても、リサイクルができる形になったら広げていくというのはあると思います。</p> <p>例えば町田や茅ヶ崎がやっている方式は、市が施設を持っているので非常にお金がかかっています。実は剪定枝のリサイクルで一番難しいのはチップにしても何にしても、その先をどうするのかというところで詰まってしまう場合があります。</p> <p>なるべく市は施設を持たない方がいいと思います。</p>

委員	<p>数量的に 4,500 トンは相当な量だと思います。</p> <p>これを堆肥化するにしても、相当な日数がかかりますので、量が一番捌けるのはやはり木質バイオマスかと思います。</p> <p>埼玉県にはいくつかバイオマスの施設がありますが、実際どうなのかというところが分かれば教えていただきたいと思います。</p>
資源循環推進課 主幹	<p>堆肥化にはヤードで保管するなど、精製にかなりの日数がかかっているということも聞いています。一方で、チップ化は、バイオマス発電に利用するという事業者が非常に多いようです。ただ、施設の受入可能量や、日量 5 トンを超えてしまうと許可が必要になるなど、色々な制約があるので、所沢市を中心とした施設は入間市や狭山市などを含め、本市近隣で 5、6 社くらいになると思います。</p> <p>例えば複数の事業者に分散しながら剪定枝を持ち込めば、かなり資源化に現実的な数字になってくるのではないかと捉えています。</p>
副会長	<p>剪定枝は水分を含んでいて重いので、運搬する費用や CO2 の排出量を含めたトータルバランスにより、堆肥にした場合と燃やした場合を比較して考えるものと思います。</p> <p>チップにして使うにも乾燥させないと使えませんし、堆肥にするにしても長い年月がかかります。</p> <p>CO2 を排出しても有機物をリサイクルして使っていくという考え方に重点を置くのかどうかも検討されたいと思います。</p>
会長	<p>いろいろな要素が絡んでくると思います。</p> <p>年間に収集ごみだけで 4,500 トンで、持ち込みがまた数千トンの量ですと、今後焼却炉を更新する場合に剪定枝を入れるか入れないかで、焼却炉の規模を変えていかないといけないので、できるだけ市の施設で燃やさない方向に持っていった方が合理的かと思います。</p> <p>日頃、家からどの程度剪定枝は出ていますか。出す側として、どう考えたいのかとかあればお願いしたいと思います。</p>
副会長	<p>我が家は、剪定枝や草がかなり出るので、一度に出すと申し訳ないと思い、月 1 回に 2 袋とか 3 袋とか決めて出しています。それを清掃工場に持って行くことになるかと非常に負担です。重いので、ごみ置き場に置きに行くだけでも精一杯という感じです。</p> <p>なので、収集していただくのがいいと個人的には思います。</p>
会長	<p>剪定枝を有効利用するというのであれば、持ち込みだけでなく家の前から回収して欲しいというご意見ですね。</p> <p>その場合、例えば月 1 回くらいでも何とかなるものなのか、頻度</p>

	<p>はいかがですか。</p>
副会長	<p>秋までは多く出ますが、冬は全く出ないです。剪定枝は季節もので、年中スタンダードに出るという感じではないと思います。</p> <p>我が家だけでなく近隣の家も出すので、ものすごい量の剪定枝が出ることもあり、やはり剪定枝はどうにかしなくてはいけないだろうと思います。</p>
会長	<p>季節性があるので、どのように収集体制を組むかという点が、かなり難しいというのがあります。</p>
委員	<p>我が家は木を植えてはいませんが、ご近所の方は、一箇所の集積所に、多い時は 45 リットルの袋を 4 袋ほど出されることがあります。</p>
委員	<p>庭のキバナコスモスなどを乾燥してからごみ袋に入れて出すようにはしていますが、トゲとか、種も鋭く尖っていて困ったこととかもあります。</p>
会長	<p>収集作業上もいろいろ注意しないといけないと思います。</p> <p>現状ですと、焼却施設で燃やされて、発電により若干はエネルギー回収ができていますが、木質燃料としてチップ化して乾燥させて燃やすということにすれば、回収できるエネルギーの量がかなり違うというのは聞いております。</p> <p>ですので、他のごみと一緒に燃やすよりは、専用の燃やし方をして電気にする方法でもかなり有効ですし、堆肥化、製紙原料など、様々な利用方法があります。</p>
委員	<p>季節ものということですが、いっぱい来たときに工場の運転に支障は来たしてないのですか。</p>
東部クリーンセンター所長	<p>剪定枝が多い時期に、カロリー的な問題や、燃焼に問題が生じるということはありません。</p>
委員	<p>小さい清掃工場ですと、草木でいっぱいになってしまった場合、それを攪拌してほかのごみと混ぜて燃やさない、うまく燃えていかないことがあることから質問しました。</p> <p>そうした状況がなくても、もったいないという精神から、リサイクルを行ったほうが良いと思います。</p>

会長	<p>剪定枝は破碎してから焼却するのでしょうか。そうすると破碎のキャパシティの問題が出てくると思うのですが。</p>
東部クリーンセンター所長	<p>破碎機にかけてから燃やしますが、破碎機の前に下ろすので、事業者や市民が連続して入ってきてしまうと、お待ちいただくということがあります。</p>
会長	<p>事業者が市に持ち込むのではなく、別のところで有効利用するように誘導できると、市があまり関与しなくても進むと思います。</p> <p>事業系のものに関しては事業者が責任持ってやるというのが原則ですので、そこをうまくできると良いと思います。</p>
委員	<p>団地の近くで木の剪定があり、剪定業者に剪定した木を譲り受けたことがあります。</p> <p>それを年1回、石焼きいもの材料として使います。かなりの木材を必要とするので、有効利用はできています。</p>
会長	<p>年に1回、焼き芋大会みたいなことをされるということですか。</p>
委員	<p>公民館で石焼きいも大会というか、それをPRしていますので、かなりの方々が来てやっております。</p>
会長	<p>そういうのもいい機会ではあると思います。</p> <p>市役所の余力というか、受け入れ側の方もいろいろ課題がありそうですし、その辺の課題を解決しながら進めていくということになるのかと思います。</p>
委員	<p>私のところは森が多いので、地域の方と一緒に、葉や枯れ木で肥料を作って配布しています。</p>
副会長	<p>公園の一部に枯葉や剪定枝を集めて、腐葉土にして使うような取り組みを所沢市内でもしてらっしゃると聞きましたが、その場所だけなのでしょうか。</p>
環境クリーン部長	<p>堆肥作りという観点ではなく、生物多様性の観点から市が管理している一部の緑地では、落ち葉とかを敷いて、カブトムシが飼えるような落ち葉だまりを作って、生物多様性をつなげていこうという取り組みを市の方で行っています。</p>
副会長	<p>剪定枝は有償で引き取ってもらえるのでしょうか。それとも逆有償になるのでしょうか。</p>

<p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>民間事業者に依頼した場合は、処理費用として支払うということになっております。その民間事業者はJAいるま野農協等と契約をして卸しているみたいですが、売払い額を差し引いて単価で契約をするというシステムになっていると伺っています。</p>
<p>会長</p>	<p>おそらく、チップにして乾燥させて燃料として使えるという状態になれば売れるが、生木の状態では処理費が発生するというようなことかと思えます。</p>
<p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>鎌倉市では売り払いをしているようですが、一部は市民の方や農地の方に無料で還元しているようです。 町田市でも売り払いをしています、なかなか販売先がないという実情も聞いています。</p>
<p>会長</p>	<p>現在は肥料の値段も上がっていますし、エネルギーの値段も上がっている状況なので、燃料とか肥料という形になってしまえば、行き先は何とかなると思います。 ただ、そこまでのコストを回収できるかという、そこは難しいかもしれません。 環境教育的には、剪定枝が肥料になって、それが田んぼでお米になってというリサイクルは大変いい教材だと思います。</p>
<p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>埼玉県内では14の自治体で、民間事業者への委託や公共施設で資源化しているようです。 東埼玉資源環境組合では、公設で運営をしていますが、施設の老朽化によるメンテナンスやランニングコストがかかっているとのことで、やはり民間事業者への委託の方が有効的な手段ではないかと聞いております。</p>
<p>会長</p>	<p>一般家庭としては大量に出ているときは取りに行っていたけるとありがたいというところも含めて、色々な要素があるということですが、検討を進めていただきたいと思えます。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>(資料3について説明が行われた)</p>
<p>会長</p>	<p>今のところは1番から4番まで出ていますけれども、今日の審議も反映して5番、6番というのを加えるということですか。</p>

資源循環推進課 主査	はい。(5)と(6)には、本日のプラスチックと剪定枝の2つのことについて記載したいと考えています。
会長	前回までのまとめの案が示されておりますが、ご質問、ご意見、また今回の応答を反映するという点に関して何かありましたら、お願いしたいと思います。
委員	この1から4、あるいは今日の議論を加えるというより、いろいろなものについて多角的なご意見が出ているところですので、ある程度共通する考え方、例えば、市民の方にとって分かりやすく取り組めるような視点が重要であるとか、事業者の方との連携で、食品ロスだと入口の側、出口のリサイクラーの側、あとはコストなど、それぞれに対して共通する考え方について所沢市の考えを入れると、今後市の方で検討されようとしているのを感じやすくなるのではないかと思います。
会長	全体を通して、全体的な方向性みたいなのを前の方に入れてもいいかもしれないですね。
資源循環推進課 主査	ありがとうございます。では、ご意見がありましたら来週中にいただければと思います。それ以降については事務局と会長で相談させていただいて、答申書の作成を一任させていただくということでお願いしたいと考えております。
会長	よろしいでしょうか。
委員	(一同了承)
会長	では、そういう形で進めさせていただきたいと思います。 本日も審議会にご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。今後とも、より良いごみの対処のあり方を考えて続けていただければ良いと思います。
副会長	副会長からはいかがでしょうか。  皆様大変お疲れ様でした。 ごみて本当に永遠の課題だなと思います。 コストもかかるし、二酸化炭素も出るし、衛生的にも良くないということで、やっぱり個々の意識が一番大事だと思います。 ですので、ぜひ行政の方々も啓発に力を入れていただきたいと思います。それから、コストと見合う処理行政をお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 では事務局の方にお戻しいたします。</p>
<p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>渡辺会長におかれましては議事進行、本日はありがとうございました。 本日を含めまして、これまで全3回開催されました本年度の審議会につきましては、本日をもって終了となります。 委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。 これまでのご審議にあたりましては、この内容を答申書といたしまして取りまとめ、後日渡辺会長から市長に対して提出いただく運びとなりますので、ご了承いただければと思います。 それでは最後となりましたが、安藤環境クリーン部長より一言ご挨拶をさせていただきます。</p>
<p>環境クリーン部長</p>	<p>渡辺会長、秋元副会長をはじめ委員の皆様、審議会でご審議を賜りまして、誠にありがとうございます。 様々なご意見を頂戴して、本当に深く感謝を申し上げます。 市といたしましては、皆様からいただいたご意見、また情報、そして新たな視点などなど、そのようなものを今後も市のごみ減量資源化の施策に反映をさせていただき、参考とさせていただきますながら、循環型社会の形成、そして脱炭素社会の形成に努めてまいります。 結びになりますが、委員の皆様のますますのご活躍とご健勝をご祈念申し上げます、御礼の挨拶に代えさせていただきます。 皆様、本当にありがとうございました。</p>
<p>一同</p> <p>資源循環推進課 主幹</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これにて本審議会の方を、閉会とさせていただきます。</p>